

令和6年(2024年)度年間授業計画表					
学年	1 年	学科	全学科	必選	必修
教科	国語	科目	現代の国語	単位	2 単位
使用教材	第一学習社 高等学校 新編 現代の国語				
学習目標	① 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 ② 生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 ③ 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力向上を図る態度を養う。				
単元と内容					
1 学期	①未知はいくらでもある ②ナマケモノになる ○書き方の基礎レッスン ○実用的な手紙文の書き方		評論文の基本的な読み方を学ぶ。		
			言語の持つ意味を理解する。		
			書き言葉についての基本的な事項を身に付ける。敬語表現を学ぶ。		
2 学期	③言語としてのピクトグラム ④十六歳のとき ⑤弱いロボットの誕生 ●話し方の工夫 ●待遇表現 ●論理的な表現 ○社会に対する意見文を書く		ピクトグラムが持つ言語としての機能を理解し、言語表現の多様性を理解する。		
			筆者の旅を追体験し、世界には様々な出会いがあることを理解する。		
			弱いロボットの開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。		
			話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、場面に応じた言葉遣いを理解する。		
3 学期	⑥イースター島になぜ森がないのか ●スピーチで自分を伝える ●合意形成のための話し合いを行う		イースター島の歴史を理解し、筆者が提示する人類と生態系の在り方について考察する。		
			自分のスピーチを大勢の聞き手にわかりやすく伝える方法を理解する。		
			話し合いの進め方のルールを理解し、実践できるようにする。		
評 価					
評価の観点		評価の趣旨			
I	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。			
II	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすことができる。他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。			
III	主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ力への認識を深めることができる。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させることができる。我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。			
評価方法	観点Ⅰ		観点Ⅱ		年間時数
	1. 定期テスト及び課題テスト ①各定期テスト(年4回) ②基礎学力テスト ③夏課題テスト 2. 発表 3. 授業時のプリント		1. 定期テスト及び課題テスト ①各定期テスト(年4回) ②基礎学力テスト ③夏課題テスト 2. 発表 3. 授業時のプリント 4. レポートや作文の提出		予定
					70 時間
					実施
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献			